

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい。

## 記

演 題：低分子量 G タンパク質とその活性化因子 DOCK  
ファミリーの構造解析

講 師：<sup>にいの</sup>新野 <sup>むつこ</sup>睦子 先生

理化学研究所 横浜研究所

ライフサイエンス技術基盤研究センター

構造・合成生物学部門 構造生物学グループ

タンパク質機能・構造研究チーム 上級研究員

日 時：平成 26 年 10 月 8 日 (水)

15 時 00 分 ～ 17 時 00 分

場 所：M&D タワー 6F 共用セミナー室 12

講演要旨：

DOCK ファミリー分子は線虫からヒトに至るまで保存された分子群で、Rho ファミリー低分子量 G タンパク質を活性化するグアニンヌクレオチド交換因子である。哺乳類では 11 種類の DOCK ファミリー分子が、Rac1 あるいは Cdc42 の上流で機能することで細胞骨格を制御しており、癌や自己免疫不全等の疾患にも関わることが明らかになってきた。本講義では、これらの DOCK ファミリーと会合因子の立体構造と機能に関しての最新の研究結果を紹介する。

参考文献：

1. Exp. Cell Res. 319:2343-9 (2013), 2. PLoS ONE 7:e46277 (2012), 3. Proc Natl. Acad. Sci USA 109:3305-10 (2012)

連絡先：横山 三紀 (硬組織病態生化学分野 内線 5567)